

個人名・グループ名	前田 直杜	大学名	愛知教育大学
作品名	酒棚	人数	1名

○製作の動機と目的

現在の下宿生活の中で、バイトなどの関係もありお酒の数が大変多くなっていることで雑にお酒が置かれており、無駄なスペースが生じてしまっていることに気がついた。また、見栄えも悪かったので、収納する棚を作り、そこへ並べることでスペースの確保や見栄えがよくなると考えた。

○利用方法

お酒の収納

○作品の工夫した点

まずは大学にある不必要になった廃材を使い製作をしようと思い、使用できそうな木材を選んだ後、材料を最大限無駄にならないような寸法を考え、材料取りを考えた。その中で棚の奥行が大きくならないように収納したいお酒の中で1番大きなものより少し広い幅をとった。また、横幅と高さは材料内の範囲でできるだけ長く、高くすることでより多くのお酒を収納できるように考えた。

3段目は側板の高さに猶予がなく短くなってしまったので比較的小さな小瓶などを収納することでお酒が不安定にならないようにすることができた。また、設計を簡単にすることで短時間での製作をすることができた。



図1 製作前の状況



図2 製作後の状況